

平成23年度「基礎・基本」定着状況調査の分析について

実施学年・実施日

平成23年6月14日(火)
広島県の小学校 第5学年の児童
中学校 第2学年の生徒



通過率

	県平均	坂町平均	横浜小学校平均
国語	78.5	81.1	80.1
算数	77.8	79.6	81.3

課題と改善点

国語

- ◎要点の聞き取りが十分ではない。
 - ・朝会の先生の話の要点をまとめる活動を継続する。給食放送の聞き取りテストを行い、聞く力を育てる。メモをとりながら聞く活動を取り入れ、要点を落とさずに聞く指導をする。
- ◎場面の移り変わりや情景の想像が十分でない。
 - ・国語の授業で、登場人物の気持ちの変化に気をつけて読むよう指導し、登場人物の気持ちを吹き出しに書く活動を取り入れる。また、場面を表す言葉に着目しながら読んだり、情景描写をとらえたりする学習を取り入れる。

算数

- ◎分数の意味や単位分数のいくつ分という考えが十分理解できていない。
 - ・もとになる数が1であることの指導だけでなく、1を超える分数の場合でも、折り紙を折るなどの操作と、数直線で表した物と数字とを結びつける学習をし、分数が表している意味を理解させる。
- ◎かさや重さの量感・単位が十分でない。
 - ・実際の物の重さやかさを量るだけでなく、決まった重さやかさの物を探したり、同じ重さやかさ見つけをするなどして、量感を育てる。また、日常生活でも単位に目を向けて、「実際の大きさと単位的一致」を定着させる。
- ◎複合図形の面積が正しく求められない。
 - ・複合図形も既習の図形が繋がってできているという見方を育て、いろいろな図形の面積の求め方を理解させる。

生活に関する意識調査

- ・食事、睡眠、運動などの生活習慣はだいたい身につけています。テレビやゲームの時間のため、学習時間が短く、就寝時刻が遅い傾向が今年も見られます。また、読書を好む児童は95.6%と多いのですが、1週間に家で読書をしている時間が1時間より少ない児童が52.2%いるなど、全体的に読書量が少ないという結果が出ています。



ご家庭でもご協力いただきますようお願いいたします。

生活習慣の改善
(テレビ・ゲーム・就寝時刻)
家庭学習の習慣
読書量(家庭)アップ

